

# 深町市民センター

住 所 若松区深町1丁目2番12号  
電話番号 771-6873  
F A X 771-6435  
館 長 名 宗岡 峰子

## 生涯学習市民講座

# ときめき塾

### 地域の概要

深町校区は、若松区の高塔山から石峰山系の北側に位置し、丘陵地が多く傾斜地に住宅が多く存在する。

4自治区会で構成され、人口約8,500人、世帯数約3,400戸。古くからの住宅地で、高齢化率30%を超えて高齢化が進んでいる。

地域活動は活発で、市民センターが設置される前から「まつり深町」や「敬老会」「深町ぶんかまつり」など4自治会が連携して大きな行事を行っている。

### 事業のねらい

深町校区には、女性の学習活動を行っている「婦人学級」があり、永く充実した活動を続けている。また、年長者対象の「老人会」でも、活発に学習活動が行なわれている。

そこで、年齢に関係なく、男性も女性も共に学べる講座を開催し、どの団体にも属していない方、特に団塊の世代の地域デビューを促すきっかけとなる様に企画した。

### 事業の概要

春講座として『環境』をテーマに3回、秋講座は『健康』をテーマに3回計画した。

### 事業（活動）の実際、内容

募集にあたっては、センターだよりや地域の特に目立つ場所等にポスターを貼って頂き、また、地域の各団体にも取りまとめなどを協

力して頂いた。春講座と秋講座それぞれ3回通しての学級生を募集したが、途中入会もOKとし、ぶらりとセンターに立ち寄られた方にも積極的に誘いをした結果、春講座は81名、秋講座は110名の参加があった。



春講座のポスター

### 《春講座》

テーマ「身の回りから環境を学ぼう！」

4/15 『エコ生活の勧め』

講師：元北九州市社会福祉ボランティア大学校  
名誉校長 亀津 正武 氏

5/26 『食生活と環境』

講師：アピ-患者が作った無添加ハウス  
代表 下村 明魅 氏

6/11 『身近なアジアの環境事情』

講師：北九州市環境国際協力室  
園 順一 氏

第1回目は、環境問題がなぜ重要なのか、全体的な内容で一人一人が取り組むための動機付けとなる講義だった。

第2回目は、講師自身が体験から学んだ内

容を中心に、ショッキングな事実の映像などもあり、大変興味深い学びとなった。

最終回は、環境先進都市として北九州市が行なっている海外での活動についての講義を通して、アジアの環境事情にまで視野を広げ、春講座3回のまとめとした。

秋講座の  
ポスター



- 《秋講座》  
 テーマ 「心身の健康を学ぼう」  
 10/26 『認知症を正しく理解していますか？』  
 講師：住田病院 院長 住田 靖尚 氏  
 11/11 『手軽な体操で若返り』  
 講師：ユニーク体操プレーナ 児島由里子 氏  
 講師：菜の花ダンスサークル 山口 能弘 氏  
 12/7 『薬の上手な使い方』  
 講師：薬剤師 西川 庸一 氏  
 『音楽で免疫力アップ』  
 講師：ギター奏者 南山 裕司 氏

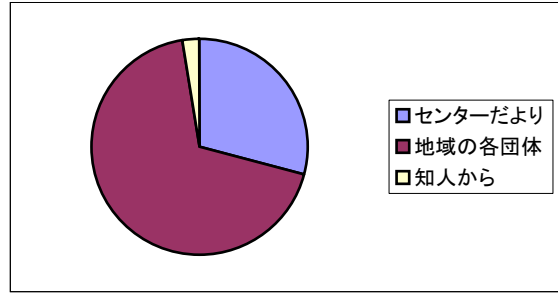
秋講座は、健康について心と身体の両面からの学びで、生活に役立つ内容の講義と楽しいダンスや素敵な音楽とを組み合わせ『ときめき塾』に来て良かったと思って頂けるように工夫をした。



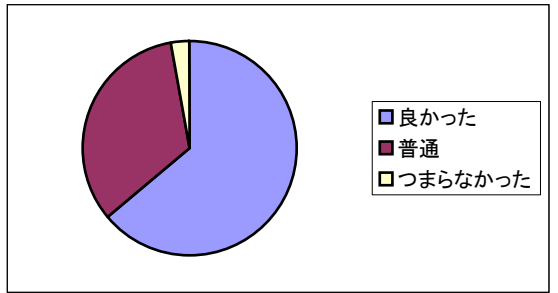
成果と課題

講座終了時にアンケート調査を行った。

1. この講座を何で知りましたか。



2. この講座はいかがでしたか？



感想

- ・ 老人になって、あまり講義をきく事がないので、良いことと思いつけてほしい。
- ・ 体操はちょっときつかった。
- ・ 講師が早口で、充分理解できない時があった。
- ・ いつも楽しみにしています。
- ・ 大変役にたっております。来年もよろしくお願いします。
- ・ また出席したいと思います。

アンケートの結果から、募集については地域団体からの声掛けが大変有効であること、講座内容については、概ね好評であったが、まだまだ皆さんに喜んで学習して頂くために、工夫が必要であることがわかった。

昨年秋から開催している「ときめき塾」が地域に根付いていく様に、次年度以降も続けていきたいと考えている。